

まゆだま

2011. 4. 27 発行
No. 345



連絡先：高田（檜原小学校）
東京歴教協 八王子支部

東北大震災で被災した方々に、心よりお見舞い申し上げます。

～ 震災の影響で、波乱の幕開けとなった2011年度が始まりました。まだまだ、余震で落ち着かない日々ですが、毎日の授業や生活は進んでいきます。今年度も東京歴教協八王子支部では、参加者の皆さんによる学び合いを進めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。毎月の例会にも、職場で、同期で、お誘ひ合わせの上、ぜひ御参加下さい。～

4月の例会報告「学級作りの実践」他



2011年度のスタートは、講師の奥田先生をお招きして「ドラえもののハンカチに絹のハンカチを食べさせてしまう」というマジックから始まった例会。一味違う学級作りの実践報告。子どもたちが「明日はどんなことがあるかな」とわくわくさせる学級作り、遊びの中でこそいじめのない仲良しの学級が育つと、楽しい学級作りの基本理念が語られました。何と言っても先生自身が一番楽しそうに語られていました。そして、そこでのテクニックの一つとしてマジックがありました。

プロ並みのマジックは、種が分かるものではありませんでした。寅さんの鞆のような中に小道具がいっぱい、人を引きつける魅力と話術、種を教えるもらっても訓練の上で出来上がっているものだと、そして様々なテクニックの集大成だと思ひました。人を集中させるには、どんな話より一つのマジックから始まるとも感じました。学級作りは、教育の基本。楽しい学級を作る

ためにはマジックだけでなく、子ども同士を繋げる遊び・ゲームも教えてくださいました。奥田先生は図工が得意で、楽しい工作やパズルの種もいっぱいでした。特にくるくる絵がかりカードが印象的でした。カードも手作りで、基本のカードをもとにマジック的なお話をご自分で考えられていました。くるくる絵がかりカードは、国語でも社会でも算数でもいろんなストーリーが展開されます。のびでこ定規も目の錯覚を利用した小道具でした。知りたい方は作り方のプリントをあげます。さらに、「どんな学習も”楽しいのが一番”と、次々に奥田実践は飛び出します。奥田先生のモットーは、

「よくわかる授業」、「いじめのない学級」、「面白い楽しい先生」。

社会科の実践では、寿限無の落語は江戸文化の導入、「家康あやうし・・・せまる武田の軍勢・・・ペンペン」と講談調で戦国時代は語られ、奈良の大仏は実物大を校庭に書き、歴史クイズありと奥田流実践に我々も引き込まれていきました。他にも町人のところでは「たがや」ありと子どもを楽しませながら授業に惹き付ける技があちこちにちりばめられていました。特に若い先生がニコニコと聞かれていたのは印象的でした。そんな様子からも、クラスの子どもたちの引き込まれている様子が目に見えるようでした。

奥田先生の1時間半のお話はあっという間で、質問の時間には「今の手品の種を教えてほしい」という内容がほとんどでした。・・・教えません(ノノ)とはいいませんが、そこは、自分から弟子入りしないとイケませんね。

「奥田先生からのメッセージ」

教科の学習条件を成り立たせる上でも、「学級作り」が前提です。それは社会科や歴史学習にとっても同様です。「学びたい」、「学校・教室が楽しい」、「先生が好き」、「楽しく過ごせる仲間がいる学級」、「いじめのない学級」・・・さて、「学級づくり」のための「楽しく学べるクラスづくり」を学び合いながらつくっていきましょう。

<奥田先生関連文献>

「学級あそびの教科書」、「クイック学級づくり」、「手品&マジックワンダーランド」他

第2部は「1年間の社会科の提案」でしたが、6年生の年間計画が主でした。最初に高田さんより発表がありました。高田さんは今年最後の6年生という事で、今までの歴教協で培った学習の集大成といった感じの年間計画でした。歴史の基本をそれぞれの時代の代表と思えるポイントから迫り、学習は社会科・作ったりする物は総合などと分けた、きめ細やかな内容でした。

高田さんがこれまでに積み上げてきた物を、(例：青い目の人形)もうまく取り入れながら、6年生の年間計画をまとめていました。



石原さんは「大陸文化に学んだ国作り」の中の「大仏」の授業案の提案でした。大きさを実感するために実際に作ってみるのですが、例えば、と頭の大きさを体感できるように例会の部屋に紙テープで3.2mの立方体の線を示したり、1mの目を模造紙で作ってきたりしてくれました。また、別のアプローチとして、武蔵国分寺の学習で、身近な国分寺から学べることの学習展開例を提示してくれました。これもやはり地域に根ざしていますね。

若月さんは、「歴史の数字を実感させる」ための実践例として、1000年・1万年・1億年と歴史では簡単にいうが子どもが実感できるように、算数の1000より大きい数の学習を例に出していました。体育館に1000年・1万年の数字をタイルの大きさに体感させる、あるいはお米を数えたりしても出来ると提案してくれました。これは、算数でも使えそうですね。

西村さんは5年の社会科の提案をしてくださいました。5年の社会科は産業学習が主ですが、中でも、特に今の時期に風評被害に苦しむ、第一次産業の農業・漁業の学習には、力を入れたいと力説していました。

栗原さんは5月のフィールドワークに繋げるように江戸時代の提案でした。八王子宿の成立やその後の宿の発展について、実際に歩いて教材作りをする栗原流の授業準備の心得を紹介してくれました。

これらの提案は、みな子ども達にわかりやすくということが基本にあります。子どもがイメージしやすい、「可視化された教材」であることを念頭に授業の準備が進められています。こういうことも例会に参加して先人達の実践報告を聞くことで、だんだんにわかってくるようになります。

こうして、盛況のうちに今年度の例会開きが終わりました。また来月・・・

【参加者の感想より】

- ★落語の話、手品とても面白かったです。入学式で何かやりたいなあと考えていたので、入学式前に知ることができなかつたので残念でした。でも、さっそく自分の教室でやってみたいと思います。ありがとうございました。
- ★マジック、ぜひ学校でやってみたいと思います。子どもたちのために楽しい学級作りの工夫をしていきたいと考えました。それだけでなく、歴史教育にも子ども達が興味をもてる工夫をしていけるんだなあと実感しました。
- ★マジック楽しかったです。工作もすぐ使えます。6年社会の年間計画も参考になりました。「八王子城の紙芝居」も「青い目の人形」も見たいです。
- ★今年は1年生の担任です。奥田先生の手品、早速やってみます。八王子地域の江戸時代の教材化、次回のフィールドワークにも参加したいと思います。今日は素敵な報告を聞かせていただき、ありがとうございました。

- ★奥田先生の講談調の授業風景は、私のやっている「一人芝居、なりきりシリーズ」と共通してるな—とと思いました。でも、2年次研修のために私の授業を見に来ていた副校長に、「君のなりきり授業は、歴史上の見たこともない内容を、見てきたかのように語るから”ウソ”になるのでダメだ」と批評されました。でも、自分の実践は、8月の歴教協全国大会の分科会で、「物語る世界史」として発表する予定です。(ぜひ、この夏の、全国大会IN福岡へどうぞ！)
- ★学級作りとして活用できる技を、授業でも活かすことができる。これは、「授業の基本は、学級の雰囲気だ」ということを教師自身がしっかりと考えているかどうかにあります。奥田先生の実践はそうしたことを良く表しているものだと感じました。自分も、学級の雰囲気を大事にしていくような経営をしたいです。
- ★毎年、学級のスタートが四苦八苦で、結局落ち着くのに1学期間かかっているような自分ですが、こうした技を身に付ければ、子どもが集中する学級になるのだと感じました。何となく、とか、適当な感じで4月をスタートさせてしまうと、後で苦労することは実感として良くわかります。今日のような会で、教師も学び続けることが大切ですね。今日は、ありがとうございます。
- ★まずは学級経営ができなければ、小学校の授業は成り立たないと思う。子どもの興味関心を教師側に惹き付けることが求められるからである。そういう意味で学級経営の技は、授業の導入や子どもの発言を引き出す授業へとつながる。奥田先生は、元々図工の先生でありながら、あそこまで学級経営にこだわる。その先生の姿勢には敬服する。先生の技は、一見するとただのマジックのように思うかもしれないが、マジックのレベルではなく、五感を最大限通して教科の知識を入れていく授業である。”子ども達に遊ばせているようで、実は深い教科教育をしている”と感じる実践報告であった。さすがベテランの積み重ねだと教師生活30年近い自分も感じる。
- ★今日の報告の内容は、”ベテランは目から鱗”だし、新人や若手の先生には”多くなる学び”となる内容であったと思います。今後も例会でこういう企画をしていただくと、職場の若手もさらに伸びるのではないかと思います。

— 5月例会のご案内 —

5月例会「八王子宿を歩く」

低学年の生活科、3年生の地域、4年生の東京、5年生の産業、6年生の歴史に役立つ

講師：栗原 戦三さん（八王子支部会員・公立&私立小学校講師）
日時：2011年5月14日（土）13：00～16：30頃
集合：京王八王子駅前バス停付近（小雨決行・豪雨の場合は屋内で）
服装：歩きやすい服、靴で御参加下さい。おやつ歓迎！！
～会の終了後、参加者でお茶会を予定しております。情報交換をしましょう。

※詳細は、事務局の高田さん（勤務先：檜原小学校：042-626-1204）まで御連絡下さい。明日の教材のために、地域を知る良い機会です。